

刊夕 日一十月一

常 新 日 報

定価 一部五銭、月刊五十五銭、郵費五銭
 廣告料 五銭、十二字、一行、金五銭、餘
 日曜、祭日の週日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

學校から

家庭へ注文

平第一小學校 篠山 廉

現在の教育状態で行きま
 すと、教育といふものは大
 體、家庭で仕上げるといふ
 ことに努めなければならな
 いものだと思ひます。勿論
 幼稚園や小學校でも確に教
 育の功績を擧げてゐるのに
 は違ひないが「人間」として
 の、最後の教育の大體とい
 ふものは、家庭が仕上げる
 さういふ風に見ると、家庭
 教育といふものゝ責任が非
 常に重いと感ずるのでありま
 す。そして家庭教育といふ
 ものは、子供の發達の程度
 に従つて、其の子供の時代
 に添うて變つて行かなけれ
 ばならぬ。勿論、つゞまる

太平洋の
 中心布哇
 は火山系
 の列島で人口三十七萬そ
 の選舉權所有人口の四十
 四%は日本人である。

處は同じですけれども、幼
 兒時代に於ける家庭教育小
 學校に於ける家庭教育中學
 校時代に於ける家庭教育と
 云ふ風、更つて行かなけれ
 ばなりません。
 其の意味から差し當つて
 幼兒時代の家庭教育に就い

て、其時代をどういふ風に
 教育したら良いかと申しま
 すと、主として誘導的教育
 でこの時代はやつて行かな
 ければならぬ。智徳に於て
 も徳育に於いてもさうです
 けれども、就學以前の所謂
 幼兒教育で第一に重んずべ
 きものは、體育第一主義で
 あると思ひます。この體育
 と云ふ中に二つあります。
 一つは擁護、一つは教育で
 ありますが、幼兒時代の體
 育と申しますと主に擁護を
 第一にせねばなりません。
 次に考ふべき事は、徳育
 方面であると思ひます。善
 良な性情を涵養する事であ
 ります。つまり良い習慣を
 つける事であります。正し
 く強い意志を以て誘導して
 行く、之は幼稚園に於て努
 めると共に家庭に於ても努
 力され度いと思ひます。智
 能方面も疎そかには出來な
 いものであります。之は特
 に障るものゝない限りは自
 然に發達して行くものです
 が、徳育方面はよく親が誘
 導しなければなりません。
 即ち幼稚時代は、その子供
 を正しく生活させる。その
 生活の中に善い性情を涵養
 し、體育第一主義で誘導し
 て行く。徹頭徹尾誘導教育
 であります。

小學校時代には、それを
 輕んずる譯ではないが、然

明日の立献

- 【朝】味噌汁——さつ
 ま芋 小付——焼
 のり
- 【晝】ハムオムレツ
- 【晚】いため煮——豚
 肉 ごぼう白滝
 お浸し——ほうれ
 ん草

「鍛錬時代」であると思ひま
 す。學習に於きましても其
 他に於ても、個性の持味を
 出し、本當の鍛錬期個性主
 義時代ですから、家庭も其
 の態度で教育しなければな
 りません。さういふ風にし
 て行つたならば、大體間違
 ひないと思ひます。

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

産婦人科 院長 木村寅次郎
 内木宗八
 醫學博士
 藥劑師 立 番 彌 一

平町新川町十九

木村病院

入院隨意
 病室完備
 電話六四番

貨切の御用命は！
 電話六四〇番
尼子タクシーへ
 是非お願いいたします
 遠乗りには特に御相談に應じます

専門
 産婦人科
 花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

レコード
 五十錢均一賣出し
 流行歌・浪花節・何んでも揃ふ勉強店

子供レコード
 二十五錢均一

平町四丁目(マツモトヤ隣)
メトロレコード店
 電話(呼)二一四番

商店各位へ急告

年未年始の賣出し景品として例年好評を受けて居り
 ました當店發賣の漆器に加へて本年は實用雜貨を種
 類豊富に取揃へて各位の御満足を得て居ります。餘
 日もなくなりました御準備は一日も早いが得策で御
 座います。間際になりますと賣切品切間に合はぬ等御
 期待に添ひ兼ねる場合が御座います。是非一日も早
 く御準備を御一報次第直ちに各種類の見本を持參致
 します。

各國産漆器
 實用雜貨類
 神佛具一式類
 文具裁縫具

卸商

共 漆 器 店

平町三丁目北裡通
 電話(呼)四八一番

玉屋洋品店
 平町田町通 電話六五六番

(非常時)
 燃料報國の大特賣
火鉢附煉炭大賣出し

煉炭十四ヶ(一ヶ五錢)
 三徳火をこし
 日本一クサクナイ煉炭、豆炭

壹組 七拾錢

濱通り代理店
 驛前 **酒井伴城商店**
 販賣店
 三丁目 **磐崎屋酒店**

飛躍の前のひと時



黒字に次ぐ黒字

去月中の平驛

平驛去月中の乗降客数は一般市場の活況に恵まれ乗車人員は四萬一千九百九十四名で前年同期より千八百九十八名を増し降車人員は四萬四千四百四十四名で是れ又前年より千五百五十名の増従つて旅客賃金二萬一千八百九十八圓六錢は前年より千二百二十八圓八十五錢と云ふ大増収となり、また貨物は發送高七千三百三十二噸で二千二百三十五噸を到着一萬八千七百二噸は六千四百八十噸を各々増加、賃金一萬百二十七圓六錢は二千三十一圓三十一錢の増収この黒字づくめに驛では有卦に入つて居る

區長

けふ會議

既報平町區長會は本日午前九時より町會議室に於いて開かれたが協議事項は左の如くである

- 一、法令其他周知の件
一、區備付現住者名簿整理の件
一、貧困者救済の件
一、醫藥無料給付の件
一、貧困者調査の件
一、就學兒童の件
一、寄留異動届の件
一、青年訓練所後援會々々

經濟更生の指導

指定村を巡回して

石城郡農會は縣吏員と協力して本年度郡下經濟更生指定村である渡邊、飯野、神谷、四倉の町村に對し左記日割で各種の實地指導を行ふ
(順序不同)
(一)小野健二郎 志田仁男 鈴木啓吾 大嶺慶一 (二)袴塚弘文 大和田一郎 鳥海司郎 高木勇 作山和男 (三)栗田孝一 三井隆夫 市原二良 菅本庄一郎 千葉文彦 (三)鳥海玄三 根本孝二郎 青沼康裕 川崎繼男 吉田利雄 (三)關内正雄 梅本治郎 安藤信 柴田秀雄 山澤泰三 (三)牧野聰一郎 石田吉男 山崎端夫 樋口博尚 鈴木仁 (三)磯餅店を惠比須町に開く事となつた、軒先に立てた旗には大きな「オカメ牡丹餅」の文字外見の手際は巧ではなかつたらふが、素人拵の砂糖潤澤の田舎館(當時の砂糖は黒砂糖と赤砂糖)其價も廉なりとあつて賣れる。數月の後には「オカメ牡丹餅」の名は偏く函館中に知れ渡つて努力に依れば自活の容易も悟り得て、資産は日に豊かなるを得た團子の製法も習つて其名の「オカメ團子」と店に賑ひを差添へた。

米倉には一杯だが

現金は無い

滞納整理から見た農家

平縣稅務出張所は去る四日の御用初め早々から舊臘中強制處分に附した九年度前期分の縣稅滯納額六萬圓の整理でドシ、公賣處分に附し明日は平町、平窪神谷、小川の滯納一萬五千圓の公賣を同所で行ふ等大童であるが整理の上から見た一般の懐合は商工業者飲食店等は強制處分の間際には耳を揃へて納付するが中小農家では米價の騰貴を夢見て米倉を米で充満させながら一文無しのもが多くなり、公賣處分に附せられるのは大部分は等中小農家に多いと

教練豫定

各個と戦闘

警中及び平商の教練査閱は来る二十七日、八の兩日各校泊 廿日石住

高麗橋を中心として

(47)

眞木翁の懐古事談

奇傑 江政敏 (三)

情意投合の妻を得

オカメ牡丹餅繁昌

奇抜な思ひつきも、二ヶ年も引續いて、慘々に打ちのめされたが、壯漢江が猛志は焔々として再起に燃えた明治九年十月、遂に北海道

巡回診療

十四日から

平署駐在巡回診療第二回は

書初め 入賞兒童

第一學校の書初め展覽會は今日より三日

間開催されるが各學級の入賞を免れ角いふが江は大したもの、唯々其の器量を入が知らぬ迄だと、肝膽相照したので所謂情意投合といふのであつたか、自ら望んで苦樂を共にする事となつたが、當時の江は惨敗の後とて餘資もなく十年に入つては山背(風の名)の吹く巴港國館の雅名の陋居も新世帯の難みは決して圓のものではなかつた、夫妻額を集めて何か出来る仕事はなにか、叔母は存外の不器用者只生家で牡丹餅の拵を手傳つ事があつたからと、即ち

- 一、毎戸標札掲揚の件
一、婦女の身賣防止並少年の就業に關する件
山一郎 藤居喜一郎 青木信夫 吉野浩平 上澤成男 (四)比佐忠雄 柴田春雄 小野昇平 磯山剛 黒澤範雅 (四)二)石川榮一 豊田聰明 岡田孝平 關原進 藤葉忠久 (四)三)横山榮一 鈴木滿男 小谷平四郎 藤田文朗 渡邊英夫 (五)一)飯沼賢一 櫻井博氏 田村精一 小林忠義 鈴木善彌 (五)二)小島弘文 松本眞平 小齊實國 府田善之 渡邊弘道 (五)三)龜山正邦 小齊宗司 飯島登司 小松崎富夫 森山弘 (六)一)鈴木健一郎 清水重政 齊藤守夫 片寄文夫 菅本進 (六)二)小林博加藤侯夫 千葉直彦 馬目順 杉本光男 (六)三)三浦貞美 小川芳勝 高階文三 大津賀清吉 青木肇 (六)四)倭文誠 木田菊壽 牛久泰志 矢野博 小野勝三 (高)一)一)菊地正男 青天目敏夫 小齊新平 今井常夫 佐藤惣一郎 (高)二)二)田中忠太郎 倭文滿 小堀茂 新妻常雄 藁谷公義 (高)二)一)鷺基一天野幸郎 眞田邦信 齊藤幸市 志賀幹男 (高)二)二)諸橋唯男 林貞男 鈴木良太 大森文勝 三浦康男
平町人車
△南町四一 古川龜太郎氏
△二女兼子
△播磨小路十二 小松正治氏
△五女光子

旅客のサービスに

平驛萬全のプラン

平地方の人出を数へて

本年中の行事

平驛旅客係は本年度旅客収入の百パーセント増加を畫る爲め本年中に平町を中心としその附近の主なる行事や催し物を調査し其の旅客輸送法に就いて遺憾なきプランを建て、居るが是に依ると

同驛の 弗箱と敷へら

るは先づ來月十三日湯本の金比羅神社祭、同月下旬に入つては前後五回に亘つて募集される水戸の觀梅があり、四月に入ると平町に開催される満蒙と國防

博覽會を筆頭に花の

松ヶ岡公園更に五月早々夏井溪谷の岩躑躅を初め十日には七年目に相當する泉村釜戸の諏訪神社の奴行列是の祭は七年前の昭和四年五月十六日には一日間に泉驛に殺倒した乗降者が一萬二千八百十名と云ふから沿線行事中のヒットであるまた七月十五日には四倉波立薬師の

縁日に 當り同月廿四

日は土用第一丑ノ日で四倉海岸の海水浴客これは八月五日の第二丑ノ日にも續き更に十三日から三日間は地獄の蓋も開き「街は火の海

ジャンガラ踊……」の盃蘭盆が來る、昨年の盆三日間平驛の乗降客は二萬四千二百十六名で正に郡下の王座を占める人出があり、續いて九月十五日の飯野八幡祭禮同月廿八、廿九兩日は關井嶽藥師の祭禮があつて

以後は十月下旬季節的な夏井川紅葉狩等以上夫々今の内から平驛は腕を撫して待つて居る

奇禍教員に 郡内各見舞金贈呈 小學校教員有志より成る運動團體の警陽俱樂部は過般の冬休みを利用し籠球の猛練習中飯野小學校訓導高杉清壽君

伊勢と成田の 參拜団体 平驛では本年最初の參拜団体旅行として成田山參り四百名、伊勢神宮參りの四百名を近く募集する筈である

が成田行は來月十一日出發一泊二日間、費用は七圓三十四錢で伊勢參りは同廿四日出發、五泊六日間、費用は二十五圓五十六錢で鐵道係員が一切のサービスを執行十輛の臨時列車が運轉される

無事故表彰 平驛の授與式 既報昨年中八ヶ月の無事故驛として東京鐵道局長より

表彰された平驛の褒賞授與式は來る十七日午前九時より東鐵の武井運轉課長臨席のもとに平驛樓上で行はれる

在郷軍人の 犯罪調べ 最も多いは詐欺 昨年中に二百二十三名

平區裁判所檢察局は此程若松憲兵分隊の照會に依り昨年中に於ける管内在郷軍人の犯罪数を調査したが合計二百二十三名で詐欺の五十七名を筆頭に窃盜、傷害等最も多く内准士官及び下士官は僅か一名宛であつたと因に犯罪種別左の如し

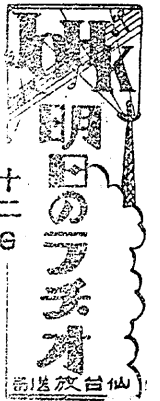
公務執行妨害一 失火一 住居侵入三 私文書偽造 行使二 賭博一六 傷害 二三 業務上過失傷害五 遺棄一 脅迫五 語拐二

今晩の部 後六〇〇 子供の時間 偉人物話「二月生れの偉人」澤田謙 後六二五 農家副業講座 「つば物と調味料の話」武原數代

後七三〇 講演「海軍々縮會議開催の年を迎へて」海軍大將竹下勇 後八〇〇 舞臺中繼 後九〇〇 落語「油屋與兵衛」桂三木助 後九三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部 前七三〇 聖典講義 大學二文學 博士 秋月胤繼 前一〇三〇 家庭講座 「初春の生花」小野風草 後一〇五〇 ジャズ銀座 ホールオーケストラ 後二〇〇 婦人の時間 「燕と婦人修養」園部秀夫 後三三〇 春場所大相撲 實況 兩國國技館より中繼

後六〇〇 子供の時間 「おみよがどんなにつよいでしよう」古田誠一郎 後六二五 農家副業講座 「果實外産物の話」星野佐紀 後七三〇 漫談西村樂天 後八〇〇 新日本音楽樂は長唄東京音楽學校邦樂部 後九〇〇 時事解説 外務省情報部第三課長佐藤忠雄



今晩も明日も北西の風曇り

ツギは不作だが 相場が安いので共同出荷 神谷農事試験分場で最近調査した石城地方の葱の收穫高は昨年九月頃の發育期に多量の降雨と氣温低下の爲め平年作の五割減収となり他縣よりの移入品が多く地元農家の葱出荷が少なく割合に相場が安いので同場では割合葱の高い東京、宮城方面への共同出荷を奨励し試みに過般神谷村農會に對して仙臺、鹽釜方面へ千餘貫の葱を共同出荷せしめた處運賃を差引いても一貫目が付いて四、五錢の利益を見たので更に各村農會にも大々的葱の共同出荷を奨励する計畫である

高久入營送別 高久村より本年陸軍の各隊に入營する六名に對し同村當局並に在郷軍人分會は去る九日村社八劍神社に祈願して護符を受け神前送別式を舉行した

小劍士勸誘狀 既報平警察署及び武徳會平支部聯合の郡下小學兒童劍道大會出場選手は尋常、高等各五名づつを以つて覇を争ふ事となり本日平署より各小學校に出場方の勸誘狀を發した

白銀衛生區長 平町白銀町衛生區長其他世話役は此程改選の結果左の如く決定した

衛生區長 尾形要治 係小野時藏 尾形要治 宮川幸治 袖山傳次

寒稽古の變更 既報明十二日より開始する筈で

シネマ週報 世界館 松竹ニユース 朝日世界ニユース 松竹現代劇 栗島すみ子、山内光主演「聖なる乳房」松竹現代劇サウンド版 高田浩吉、飯塚敏子主演「祇園囃子」 松竹時代劇 林長二郎、及川道子主演 全發聲「月形半平太」

平 館 日活時代劇 市川百々之助 高津愛子主演「平手造酒」日活現代劇 山路文子、中田弘二主演「戀はバスに乗つて」オールドロイド主演「ロイドの冒険」

裁判所たより △内郷村大字白水壽炭組支柱夫前科四犯菊地隆一(三六)が同村大字宮字代二六佐久間義政氏方外敷ケ所に忍び入り登米合計二斗五升價格七圓五十錢及び現金六圓餘を窃取した事件の公判は今日午前九時より平區裁判所に於て香西判事係り清田檢察立會の下に開廷事實訊問の上檢事より懲役二年六ヶ月を求刑され判事より即決求刑通り言渡された



明治太平記

(禁断断絶 上映及上項)

(作) 寺島 樞 史
(畫) 野口 漣

第二十六回

建白書(七)

『はい、これが、血をもつて書いた建白書でござります』

大志賀は、ふところから奉書紙に認めた横山の建白書を取り出し、三條公に差出した。公はそれを受取つて披いてみたが

『ほう、時弊を慨する十ヶ條の建白ぢや。筆蹟も美事、これにこのやうな廊の座敷で讀むべきではないのう』

公は、一たん披いた奉書紙をするくと巻いた。『いや、たとへ廊であつても、讀まれる御仁は三條公卿でござれば、死んだ横山もさぞよろこぶことござりませう、どうぞ御一讀、そして、適宜の御處置あらんことを、横山に代つてお願申上ます』

大志賀は、さんばら髪を振りかぶつて頭をさげた。『さうか、では讀まう……』

叱りつけるところ、二十八歳の青年の愛國の熱血文章はわれれに痛いぞ』

『第二。大小官員モ、外ニハ虚飾ヲ張り内ニ名利ヲ事トスル少カラズ……』

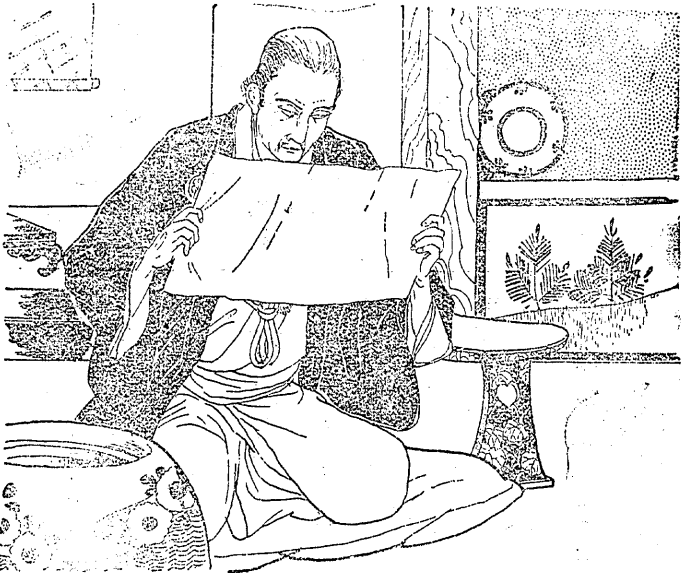
第三。朝令夕替、萬民、

『新政府の諸制度に不満を抱くものは、ひとり横山にかぎりません』

『さうだらう。諸民一統がしたいに政府の態度に不満を抱く様になる……』

何に、第四。道中人馬賃銀ヲ上増シ、五分ノ一献金等スベテ人情事實ヲ察セズ、人心ノ歸不歸ヲ省ズ、剝刻ノ處置也……』

公はしとねのうへに正座しながら、建白書の一字一句もおろそかにせず、吟味しむしろ熟讀してゐる。『第五。直ノ崇ハズ、能者



狐疑ヲ抱キ、方向ニ迷フ畢ガ故ニ世風日ニ輕薄ナリ……なるほど、廉恥上に立つたざるとは、よくも弱所を衝いたものぢやのう。第六官ノ爲ニ人ヲ求メズシテ、人ノ爲ニ官ヲ求ムル故ニ、毎局己レノニ盡サズ、職事、賃取仕事ノヤウニ心得

ル者アリ……』

『人の爲に官を求むる……これは時弊のもつとも大なるものとおもひます。新政府當路の大官をはじめ、六等出仕にいたるまで、官の爲に人を求めてその座に就かしたものが幾人ありませうか。じつに、その職事賃仕事をやうには、痛いところござる』

大志賀は持前の硬直偏屈なところをそろ／＼現してきた。『いや、綱紀の肅正といふことは、昔もいまも、なか／＼至難な事ぢや』

市原産 土手やまき 魚問屋

完全燃焼の爲め 煙筒掃除の要無き 日本一の…… フクロク、ストローブ

御申越次第カタログ持参御伺ひ致します

平 驛 前

阿部石炭商店 電話 三七番

釜屋商店 電話 九九番

代理店 平命生 日本最大 最優 志賀 盛榮

(三一二電) 目丁四平

市原醫院

平町 田町 電話 一一四番

吸入用酸素 純度 99%

度量器 寒暖計

秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス

開内藥局

電話 四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番)

藤田女學校前

入院のお需めに應ず 自炊の便あり

魚問屋

完全燃焼の爲め 煙筒掃除の要無き 日本一の…… フクロク、ストローブ

御申越次第カタログ持参御伺ひ致します

平 驛 前

阿部石炭商店 電話 三七番

釜屋商店 電話 九九番

外科 花柳病科 専門 木村外科醫院

電話 三〇九番

平町六丁目橋際

自炊入院の便あり